



作品写真:一般社団法人「風の環」提供  
ただし作品5の上段と6は昭和の森芸術文化振興会の提供

「昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園」は、東京都昭島市内の自然に囲まれた都市型リゾートホテル「フォレスト・イン 昭和館」の北側隣接地、昭和飛行機工業㈱が保有する樹林地に開園した。開園と今後の運営には、昭島市、同社、一般社団法人「風の環」、昭和の森芸術文化振興会、そして武藤順九氏という、行政・民間企業(団体)・アーティストが力を合わせ、自然環境の保護はもちろん、市民や世界中の来訪者、特に子どもたちが身近に自然と芸術を楽しめる環境を整備することで、感性や想像(創造)力を育むことを大きな目的とする。

**昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園**  
所在地: 東京都昭島市昭和の森(フォレスト・イン 昭和館 北側樹林地)  
お問い合わせ: 昭和の森芸術文化振興会 事務局 / TEL.042-546-1105  
<https://www.june9-showa-no-mori-akishima.jp/>



6月8日に開かれた内覧会での除幕式にて。中央左が武藤順九氏、その左隣が一般社団法人「風の環」・武藤典子理事長、中央左から昭島市・白井伸介市長、昭和飛行機工業㈱・田沼千明社長、昭和の森芸術文化振興会・福特克之助会長(写真:編集部)

作品が豊かな木々に囲まれているため、今後は定期的に大理石の本場・イタリアから専門職人を招き、コーティングやクリーニングなどのメンテナンスを行なう予定。「その際にはワークショップ等を開催し、技術やノウハウを日本の美術界、そして石材業界にも還元したい」と武藤氏。自然環境の保全だけでなく、森とともに成長する自身の作品(妖精たち)の未来へも思いを寄せる。

入園・観覧は無料。ぜひ一年を通して日々刻々と表情を変える武藤氏の作品に触れていただきたい。

00)」は、世界平和を象徴するモニュメントとして1000年にバチカン市国のローマ法王公邸に永久設置されている。また「同一PAX2005」は仏教発祥の地インド・ブッダガヤのマハボディ大寺院(世界遺産)に設置。「同一PAX2008」は不啻ティニアメリカンの聖地であるアメリカ・ワシントン州デビルズタワー・ナショナルモニュメント(アメリカ合衆国・国定公園)内に設置されている。